

3.2 コンクリート部材の変状

変状の種類
<p>⑥ ひびわれ</p> <p>⑦ 剥離・鉄筋露出</p> <p>⑧ 漏水・遊離石灰</p> <p>⑨ うき</p>

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ コンクリート部材の表面にひびわれが生じている状態をいう。



写真番号 C-6.1.1

説明
頂版にひびわれが生じた例。
(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-6.1.2

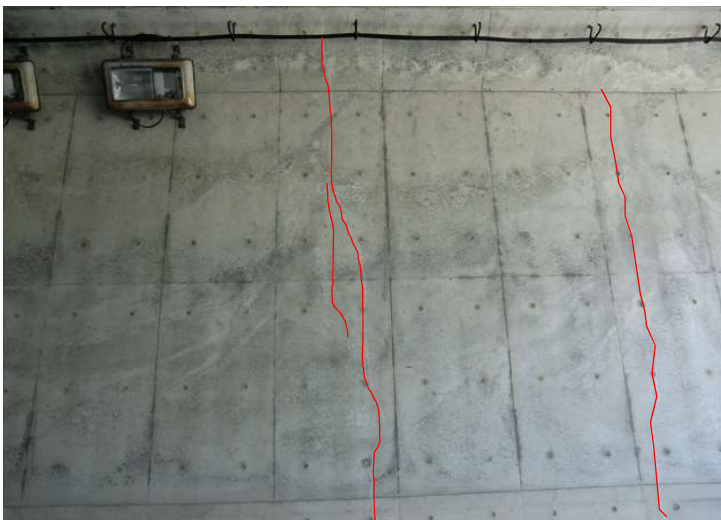
説明
頂版にひびわれが生じた例。
(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-6.1.3

説明
頂版にひびわれが生じた例。



写真番号 C-6.1.4

説明
側壁にひびわれが生じた例。

(注：ひびわれを赤線でマーキングしている)



写真番号 C-6.1.5

説明
側壁にひびわれが生じた例。

(注：ひびわれを赤線でマーキングしている)

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-6.1.6

説明

頂版、側壁、ウイングにひびわれが生じた例。

(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-6.1.7

説明

水路壁にひびわれが生じた例。

(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)

写真番号 —

説明

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ ひびわれ以外に、コンクリートの剥落や鉄筋の露出など、その他の変状が生じている場合には別途それらの変状としても扱う。
- ◆ PC定着部においては当該部位でのみ扱い、当該部位を含む主梁等においては当該部位を除いた部材において評価する。
- ◆ PC定着部においては「ひびわれ」のほか、「定着部の変状」としても扱う。



写真番号 C-6.2.1

説明
頂版に漏水・遊離石灰を伴うひびわれが生じている。

この場合、「ひびわれ」,
「漏水・遊離石灰」の2項目として扱う。



写真番号 C-6.2.2

説明
側壁の補修材にひびわれが生じている。

この場合、「ひびわれ」,
「補修・補強材の変状」の2項目として扱う。

(注：ひびわれを赤線でマーキングしている)

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 C-6.2.3

説明

ウイング全体にひびわれが生じており、一部に剥離・鉄筋露出が生じている。

この場合、「ひびわれ」, 「剥離・鉄筋露出」の2項目として扱う。

(注：剥離箇所を赤線でマーキングしている)



写真番号 C-6.2.4

説明

定着部にひびわれが生じている。

この場合、「ひびわれ」, 「定着部の変状」の2項目として扱う。



写真番号 C-6.2.5

説明

定着部にひびわれ, うき, 遊離石灰が生じている。

この場合、「ひびわれ」, 「漏水・遊離石灰」, 「うき」, 「定着部の変状」の4項目として扱う。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「ひびわれ」の変状評価基準に基づいて行う。
- ◆ 変状程度の評価区分は、変状程度に関する「最大ひびわれ幅」と「最小ひびわれ間隔」の一般的状況から判断した規模の大小組合せによることを基本とする。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	最大ひびわれ幅に着目した程度	最小ひびわれ間隔に着目した程度
a	変状なし	
b	小	小 (間隔が大)
c	小	大 (間隔が小)
	中	小 (間隔が大)
d	中	大 (間隔が小)
	大	小 (間隔が大)
e	大	大 (間隔が小)

2) 要因毎の一般的状況

a) 最大ひびわれ幅に着目した程度

区分	一般的状況
大	ひびわれ幅が大きい (RC 構造物0.3mm以上, PC 構造物0.2mm以上)
中	ひびわれ幅が中位 (RC 構造物0.2mm以上0.3mm未満, PC 構造物0.1mm以上0.2mm未満)
小	ひびわれ幅が小さい (RC 構造物0.2mm未満, PC 構造物0.1mm未満)

b) 最小ひびわれ間隔に着目した程度

区分	一般的状況
大	ひびわれ間隔が小さい (最小ひびわれ間隔が概ね0.5m未満)
小	ひびわれ間隔が大きい (最小ひびわれ間隔が概ね0.5m以上)

コンクリート部材の変状	⑥ひびわれ	7 / 14
-------------	-------	--------

(Ⅲ)変状程度の評価							
(2)評価例(1/8)	【RC】 評価 b						
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-6.3.1</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.1	部材名	頂版 (CV-C-Cr)	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)
	写真番号	C-6.3.1					
	部材名	頂版 (CV-C-Cr)					
	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)					
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-6.3.2</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>側壁 (CV-C-Sw)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれを赤線でマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.2	部材名	側壁 (CV-C-Sw)	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれを赤線でマーキングしている)
	写真番号	C-6.3.2					
	部材名	側壁 (CV-C-Sw)					
	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれを赤線でマーキングしている)					
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-6.3.3</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>水路壁 (CV-C-Sx)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれを赤線でマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.3	部材名	水路壁 (CV-C-Sx)	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれを赤線でマーキングしている)
	写真番号	C-6.3.3					
	部材名	水路壁 (CV-C-Sx)					
	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれを赤線でマーキングしている)					

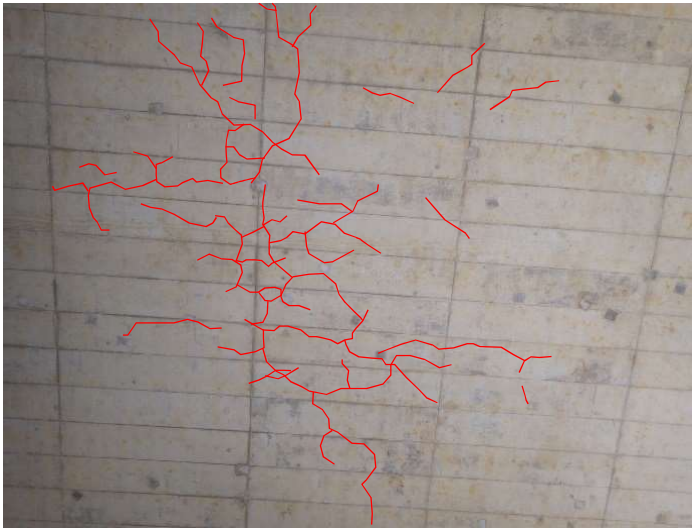
(Ⅲ)変状程度の評価										
(2)評価例(2/8)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; text-align: center;">【RC】</td> <td style="width:33%; text-align: center;">評価 c</td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>	【RC】	評価 c							
【RC】	評価 c									
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">写真番号</td> <td style="width:33%;">C-6.3.4</td> <td style="width:33%;"></td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td colspan="2">頂版 (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2"> <ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.4		部材名	頂版 (CV-C-Cr)		備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)	
写真番号	C-6.3.4									
部材名	頂版 (CV-C-Cr)									
備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)									
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">写真番号</td> <td style="width:33%;">C-6.3.5</td> <td style="width:33%;"></td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td colspan="2">側壁 (CV-C-Sw)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2"> <ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれを赤線でマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.5		部材名	側壁 (CV-C-Sw)		備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれを赤線でマーキングしている)	
写真番号	C-6.3.5									
部材名	側壁 (CV-C-Sw)									
備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれを赤線でマーキングしている)									
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">写真番号</td> <td style="width:33%;">C-6.3.6</td> <td style="width:33%;"></td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td colspan="2">水路壁 (CV-C-Sx)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2"> <ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.6		部材名	水路壁 (CV-C-Sx)		備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)	
写真番号	C-6.3.6									
部材名	水路壁 (CV-C-Sx)									
備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)									

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(3/8)

【RC】

評価 d



写真番号	C-6.3.7
部材名	頂版 (CV-C-Cr)
備考	<p><ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい</p> <p>(注：ひびわれを赤線でマーキングしている)</p>



写真番号	C-6.3.8
部材名	側壁 (CV-C-Sw)
備考	<p><ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい</p> <p>(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)</p>



写真番号	C-6.3.9
部材名	隔壁 (CV-C-Iw)
備考	<p><ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい</p> <p>(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)</p>

(Ⅲ)変状程度の評価							
(2)評価例(4/8)	【RC】 評価 e						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>C-6.3.10</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.10	部材名	頂版 (CV-C-Cr)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)
写真番号	C-6.3.10						
部材名	頂版 (CV-C-Cr)						
備考	<ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>C-6.3.11</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>側壁 (CV-C-Sw)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.11	部材名	側壁 (CV-C-Sw)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)
写真番号	C-6.3.11						
部材名	側壁 (CV-C-Sw)						
備考	<ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>C-6.3.12</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>隔壁 (CV-C-Iw)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.12	部材名	隔壁 (CV-C-Iw)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)
写真番号	C-6.3.12						
部材名	隔壁 (CV-C-Iw)						
備考	<ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)						

コンクリート部材の変状	⑥ひびわれ	11 / 14
-------------	-------	---------

(Ⅲ)変状程度の評価							
(2)評価例(5/8)	【PC】 評価 b						
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-6.3.13</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.13	部材名	頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)
	写真番号	C-6.3.13					
	部材名	頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)					
	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)					
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-6.3.14</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.14	部材名	頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)
	写真番号	C-6.3.14					
	部材名	頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)					
	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)					
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>C-6.3.15</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (アーチカルバート) (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.15	部材名	頂版 (アーチカルバート) (CV-C-Cr)	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)
	写真番号	C-6.3.15					
	部材名	頂版 (アーチカルバート) (CV-C-Cr)					
	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)					

(Ⅲ)変状程度の評価							
(2)評価例(6/8)	【PC】 評価 c						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>C-6.3.16</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.16	部材名	頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)
写真番号	C-6.3.16						
部材名	頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)						
備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>C-6.3.17</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (中) : 幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.17	部材名	頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)	備考	<ひびわれ幅の程度> (中) : 幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)
写真番号	C-6.3.17						
部材名	頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)						
備考	<ひびわれ幅の程度> (中) : 幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>C-6.3.18</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (アーチカルバート) (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	C-6.3.18	部材名	頂版 (アーチカルバート) (CV-C-Cr)	備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)
写真番号	C-6.3.18						
部材名	頂版 (アーチカルバート) (CV-C-Cr)						
備考	<ひびわれ幅の程度> (小) : 幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)						

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(7/8)

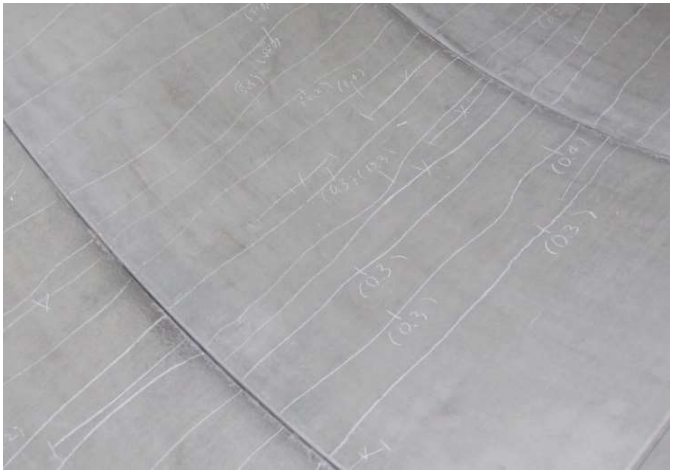
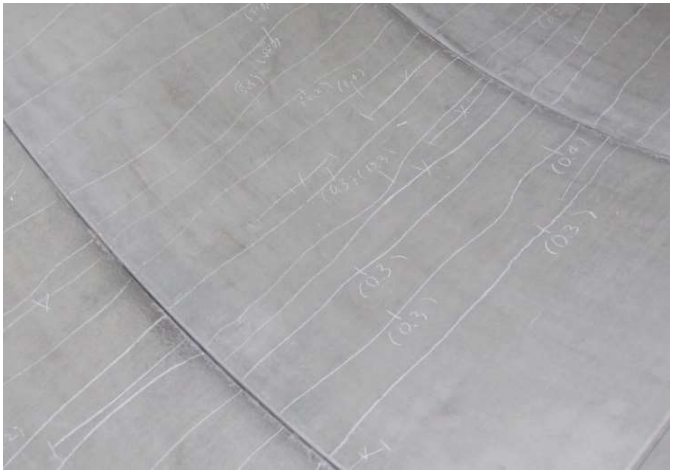
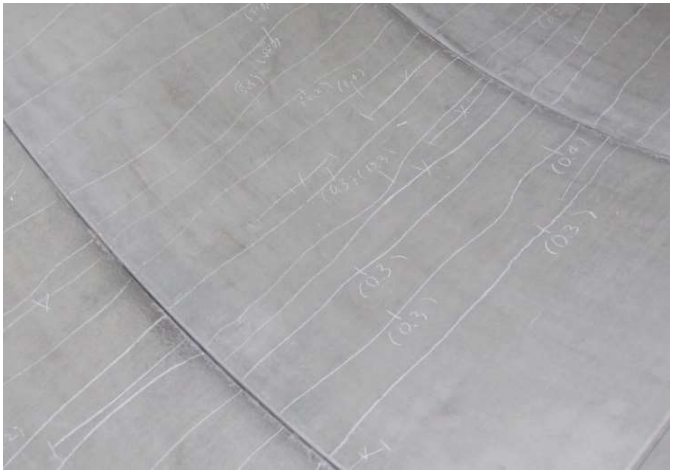
【PC】

評価 d

	写真番号	C-6.3.19
	部材名	
	頂版 (ボックスカルバート)	
	(CV-C-Cr)	
	備考	
<p><ひびわれ幅の程度> (中) : 幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい</p> <p>(注 : ひびわれを赤線でマーキングしている)</p>		

	写真番号	C-6.3.20
	部材名	
	頂版 (ボックスカルバート)	
	(CV-C-Cr)	
	備考	
<p><ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい</p> <p>(注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)</p>		

	写真番号	C-6.3.21
	部材名	
	頂版 (アーチカルバート)	
	(CV-C-Cr)	
	備考	
<p><ひびわれ幅の程度> (中) : 幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい</p> <p>(注 : ひびわれを赤線でマーキングしている)</p>		

(Ⅲ)変状程度の評価																													
(2)評価例(8/8)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; text-align: center;">【PC】</td> <td style="width:33%; text-align: center;">評価 e</td> <td style="width:33%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> <td style="border: none;">写真番号</td> <td>C-6.3.22</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">部材名</td> <td>頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> <tr> <td style="border: none;">写真番号</td> <td>C-6.3.23</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">部材名</td> <td>頂版 (アーチカルバート) (CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> <td style="border: none;">備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> <tr> <td style="border: none;">写真番号</td> <td>C-6.3.24</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">部材名</td> <td>側壁 (アーチカルバート) (CV-C-Sw)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> <tr> <td style="border: none;">写真番号</td> <td>C-6.3.24</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> <td style="border: none;">備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	【PC】	評価 e			写真番号	C-6.3.22	部材名	頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)	写真番号	C-6.3.23	部材名	頂版 (アーチカルバート) (CV-C-Cr)		備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)	写真番号	C-6.3.24	部材名	側壁 (アーチカルバート) (CV-C-Sw)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)	写真番号	C-6.3.24		備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)
【PC】	評価 e																												
	写真番号	C-6.3.22																											
	部材名	頂版 (ボックスカルバート) (CV-C-Cr)																											
	備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)																											
	写真番号	C-6.3.23																											
	部材名	頂版 (アーチカルバート) (CV-C-Cr)																											
	備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)																											
	写真番号	C-6.3.24																											
	部材名	側壁 (アーチカルバート) (CV-C-Sw)																											
	備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)																											
	写真番号	C-6.3.24																											
	備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)																											

(I)一般的性状・変状の特徴

- ◆ コンクリート部材の表面が剥離している状態を剥離，剥離部で鉄筋が露出している場合を鉄筋露出という。



写真番号 C-7. 1. 1

説明
頂版に剥離・鉄筋露出が生じた例。



写真番号 C-7. 1. 2

説明
頂版に剥離・鉄筋露出が生じた例。

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-7.1.3

説明
頂版に剥離・鉄筋露出が生じた例。



写真番号 C-7.1.4

説明
側壁に剥離・鉄筋露出が生じた例。

(注：剥離・鉄筋露出を赤線でマーキングしている)



写真番号 C-7.1.5

説明
側壁に剥離・鉄筋露出が生じた例。

(注：剥離・鉄筋露出を赤線でマーキングしている)

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-7.1.6

説明
側壁に剥離・鉄筋露出が生じた例。



写真番号 C-7.1.7

説明
土留壁に剥離・鉄筋露出が生じた例。

(注：剥離・鉄筋露出を赤線でマーキングしている)

写真番号 —

説明

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ 剥離・鉄筋露出とともに変形・欠損（衝突痕）が生じているものは、別途、それらの変状としても扱う。
- ◆ 「剥離・鉄筋露出」には露出した鉄筋の腐食、破断などを含むものとし、「腐食」、「破断」などの変状としては扱わない。



写真番号	C-7.2.1
説明	
頂版端部に欠損（衝突痕）が生じている。	
衝突などの大きな外力による断面欠損の他、劣化等によってかぶりコンクリートが剥離している場合は、「剥離・鉄筋露出」、「変形・欠損」の2項目として扱う。	



写真番号	C-7.2.2
説明	
頂版に腐食した鉄筋が露出している。	
「剥離・鉄筋露出」には露出した鉄筋の腐食を含むものとし、「腐食」などの変状としては扱わない。	

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 C-7.2.3

説明
側壁のコンクリートが剥離し、腐食した鉄筋が露出している。

劣化等によってかぶりコンクリートが剥離している場合は、「剥離・鉄筋露出」として扱う。



写真番号 C-7.2.4

説明
側壁の補修箇所に剥離・鉄筋露出が生じている。

この場合、「剥離・鉄筋露出」、「補修・補強材の変状」の2項目として扱う。



写真番号 C-7.2.5

説明
側壁のコンクリートに剥離・鉄筋露出とともに、その周辺にうきが生じている。

この場合、「剥離・鉄筋露出」、「うき」の2項目として扱う。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「剥離・鉄筋露出」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

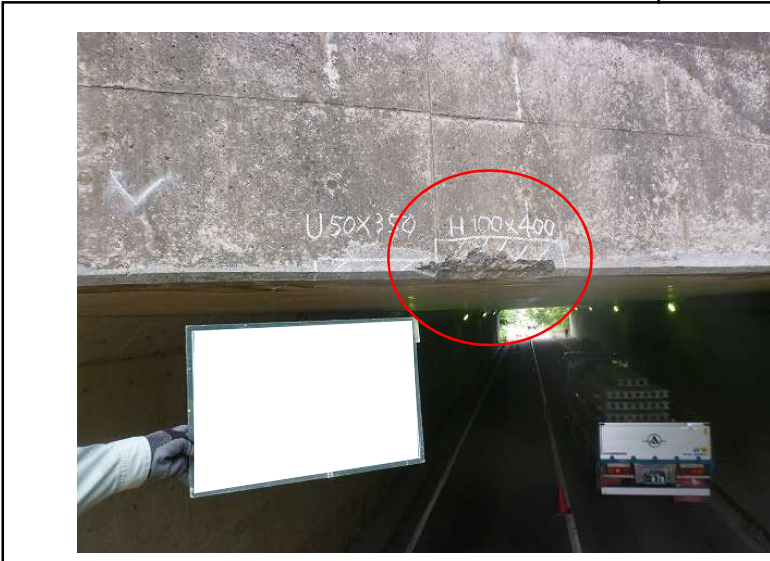
1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	剥離のみが生じている。
d	鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。
e	鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食又は破断している。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(1/4)

評価 c



写真番号 C-7.3.1

部材名

頂版

(CV-C-Cr)

備考

剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。

(注：剥離箇所を赤線でマーキングしている)



写真番号 C-7.3.2

部材名

頂版

(CV-C-Cr)

備考

剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。



写真番号 C-7.3.3

部材名

頂版

(CV-C-Cr)

備考

剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(2/4)

評価 c



写真番号 C-7.3.4

部材名

側壁

(CV-C-Sw)

備考

剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。



写真番号 C-7.3.5

部材名

側壁

(CV-C-Sw)

備考

剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。



写真番号 C-7.3.6

部材名

ウイング

(W-C-Ww)

備考

剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。

(注：剥離箇所を赤線でマーキングしている)

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(3/4)

評価 d



写真番号 C-7.3.7

部材名

頂版

(CV-C-Cr)

備考

鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。



写真番号 C-7.3.8

部材名

側壁

(CV-C-Sw)

備考

鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。



写真番号 C-7.3.9

部材名

側壁

(CV-C-Sw)

備考

鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。

(Ⅲ)変状程度の評価									
(2)評価例(4/4)	評価 e								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>C-7.3.10</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食している。</td> </tr> </table>	写真番号	C-7.3.10	部材名	頂版		(CV-C-Cr)	備考	鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食している。
写真番号	C-7.3.10								
部材名	頂版								
	(CV-C-Cr)								
備考	鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食している。								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>C-7.3.11</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(CV-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食している。</td> </tr> </table>	写真番号	C-7.3.11	部材名	頂版		(CV-C-Cr)	備考	鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食している。
写真番号	C-7.3.11								
部材名	頂版								
	(CV-C-Cr)								
備考	鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食している。								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>C-7.3.12</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>側壁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(CV-C-Sw)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食している。</td> </tr> </table>	写真番号	C-7.3.12	部材名	側壁		(CV-C-Sw)	備考	鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食している。
写真番号	C-7.3.12								
部材名	側壁								
	(CV-C-Sw)								
備考	鉄筋が露出しており，鉄筋が著しく腐食している。								

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ コンクリートの打継目やひびわれ部等から、水や石灰分の滲出や漏出が生じている状態をいう。



写真番号 C-8.1.1

説明
頂版の端部に漏水・遊離石灰が生じた例。



写真番号 C-8.1.2

説明
頂版の端部に漏水・遊離石灰が生じた例。

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-8.1.3

説明

頂版に漏水・遊離石灰が生じた例。



写真番号 C-8.1.4

説明

頂版および側壁に漏水・遊離石灰が生じた例。



写真番号 C-8.1.5

説明

側壁に漏水・遊離石灰が生じた例。

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-8.1.6

説明
隔壁に漏水・遊離石灰が生じた例。



写真番号 C-8.1.7

説明
ウイングに漏水・遊離石灰が生じた例。

写真番号 —

説明

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ 排水不良などでコンクリート部材の表面を伝う水によって発生している析出物は、遊離石灰とは区別して「⑫その他」として扱う。また、外部から供給されそのままコンクリート部材の表面を流れている水については、「⑩漏水・滞水」として扱う。
- ◆ ひびわれ、うき、剥離など他に該当するコンクリートの変状については、それぞれの項目でも扱う。



写真番号	C-8.2.1
説明	
頂版下面に漏水が生じている。	
外部から供給され、そのままコンクリート部材の表面を流れている水については、「漏水・滞水」として取り扱う。	



写真番号	C-8.2.2
説明	
頂版の継手部から漏水が生じている。	
外部から供給されそのままコンクリート部材の表面に流れている水については、「漏水・滞水」として扱う。	

(Ⅱ)他の変状との関係



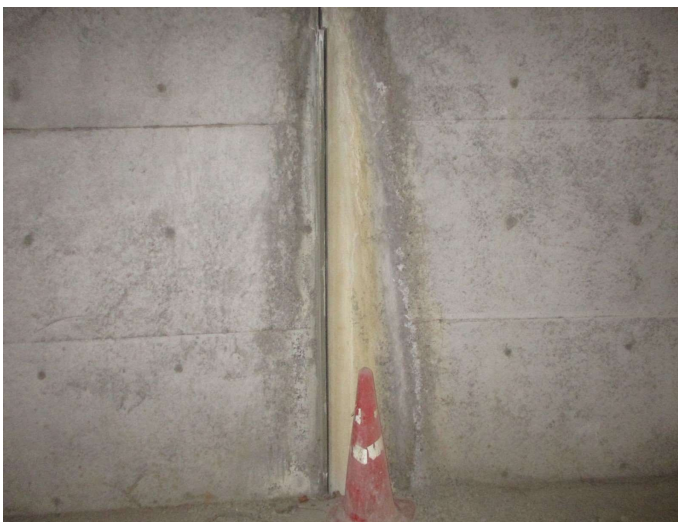
写真番号 C-8.2.3

説明
頂版のひびわれから遊離石灰が生じ、析出物が生じている。
ひびわれを伴う遊離石灰の析出がみられる場合、「漏水・遊離石灰」、「ひびわれ」の2項目として扱う。



写真番号 C-8.2.4

説明
側壁のひびわれから遊離石灰が生じている。
ひびわれを伴う遊離石灰の析出がみられる場合、「漏水・遊離石灰」、「ひびわれ」の2項目として扱う。



写真番号 C-8.2.5

説明
側壁の継手部から漏水および遊離石灰が生じている。
コンクリートの石灰分の滲出が生じている場合は、「漏水・遊離石灰」として扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 C-8.2.6

説明

側壁のひびわれから錆汁を伴う漏水が生じている。

ひびわれを伴う錆汁がみられる場合、「漏水・遊離石灰」、「ひびわれ」の2項目として扱う。



写真番号 C-8.2.7

説明

頂版、側壁、ウイングの広範囲に錆汁を伴う遊離石灰が生じている。また、うきとひびわれも生じている。

この場合、「漏水・遊離石灰」、「ひびわれ」、「うき」の3項目として扱う。

写真番号 —

説明

—

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「漏水・遊離石灰」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	ひびわれから漏水が生じている。 錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。
d	ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。
e	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている。 又は漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。

注) 打継目や継手部から生じる漏水・遊離石灰についても、ひびわれと同様の評価とする。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(1/5)

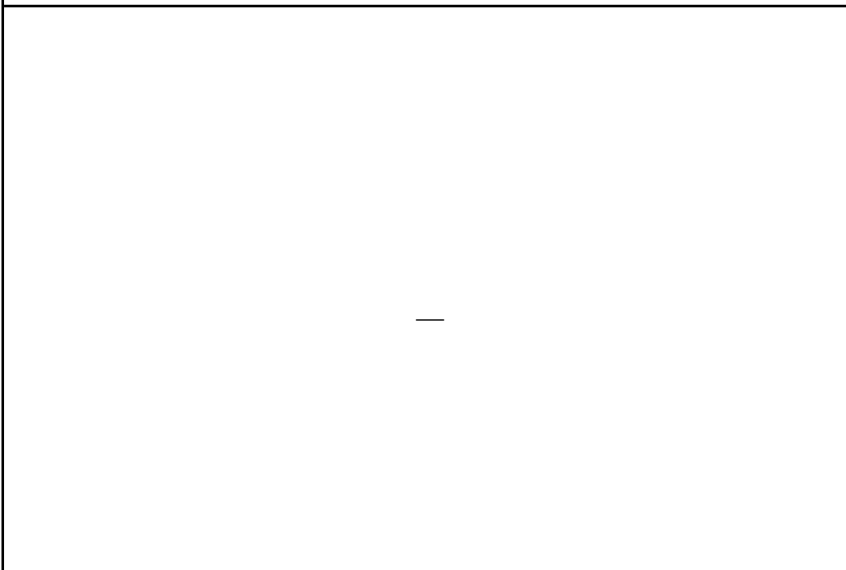
評価 c



写真番号	C-8.3.1
部材名	頂版 (CV-C-Cr)
備考	漏水が生じている。 錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。 (注：漏水箇所を赤線でマーキングしている。)



写真番号	C-8.3.2
部材名	水路壁 (CV-C-Sx)
備考	漏水が生じている。 錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。



写真番号	—
部材名	—
備考	—

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(2/5)

評価 d



写真番号	C-8.3.3
部材名	
頂版	(CV-C-Cr)
備考	ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。



写真番号	C-8.3.4
部材名	
頂版	(CV-C-Cr)
備考	ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。 (注：漏水・遊離石灰を赤線でマーキングしている)



写真番号	C-8.3.5
部材名	
頂版	(CV-C-Cr)
備考	ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(3/5)

評価 d



写真番号 C-8.3.6

部材名

側壁

(CV-C-Sw)

備考

継手部から遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。



写真番号 C-8.3.7

部材名

縦方向連結部

(J-X-Lj)

備考

定着部のコンクリートから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。



写真番号 C-8.3.8

部材名

ウイング

(W-C-Ww)

備考

ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(4/5)

評価 e



写真番号 C-8.3.9

部材名

頂版

(CV-C-Cr)

備考

打継目から著しい遊離石灰が生じており、錆汁の混入が認められる。



写真番号 C-8.3.10

部材名

頂版

(CV-C-Cr)

備考

ひびわれから著しい遊離石灰(つらら状)が生じている。



写真番号 C-8.3.11

部材名

頂版

(CV-C-Cr)

備考

継手部から著しい遊離石灰(つらら状)が生じており、錆汁の混入が認められる。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(5/5)

評価 e



写真番号 C-8.3.12

部材名

側壁

(CV-C-Sw)

備考

ひびわれから遊離石灰が生じており、錆汁の混入が認められる。



写真番号 C-8.3.13

部材名

側壁

(CV-C-Sw)

備考

ひびわれから著しい遊離石灰が生じている。



写真番号 C-8.3.14

部材名

その他(土留壁)

(X)

備考

ひびわれから遊離石灰が生じており、錆汁の混入が認められる。

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ コンクリート部材の表面付近がういた状態をいう。
- ◆ コンクリート表面に生じるふくらみなどの変状から目視で判断できない場合にも、打音検査において濁音が生じることで検出できる場合がある。

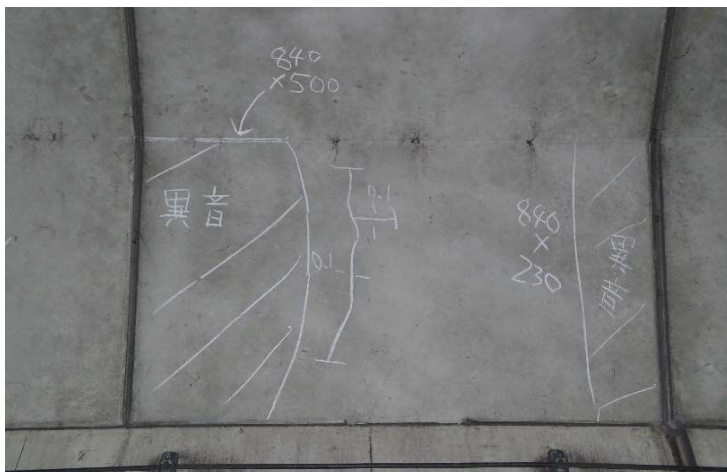


写真番号 C-9.1.1

説明

頂版の端部にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



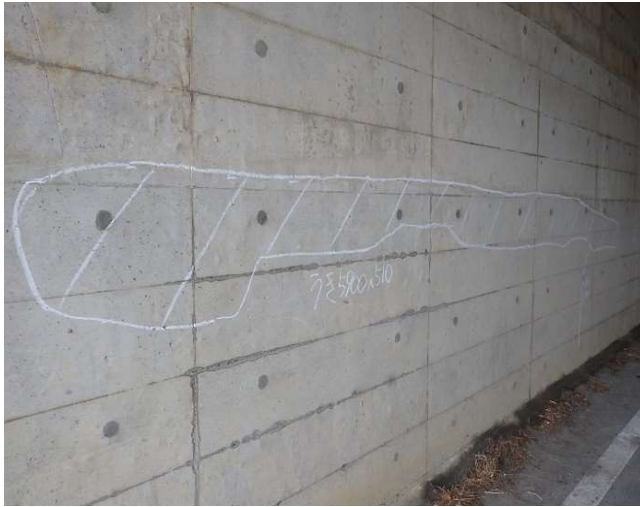
写真番号 C-9.1.2

説明

頂版にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-9.1.3

説明

側壁にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-9.1.4

説明

側壁の補修箇所にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-9.1.5

説明

側壁の接合部にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 C-9.1.6

説明

隔壁にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-9.1.7

説明

ウイングにうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-9.1.8

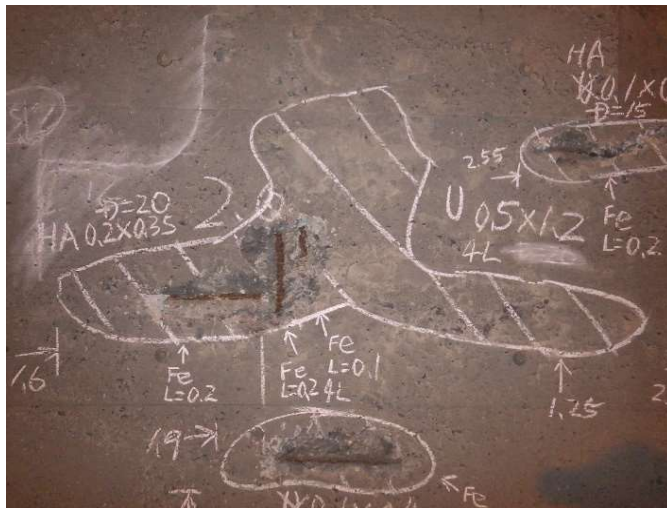
説明

土留壁にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

(II)他の変状との関係

- ◆ ういた部分のコンクリートが剥離している，又は打音検査により剥離した場合には，「剥離・鉄筋露出」として扱う。



写真番号 C-9.2.1

説明

うきと剥離・鉄筋露出が生じている。

同じ箇所で鉄筋露出が生じている箇所とうきが混在する場合，「うき」，「剥離・鉄筋露出」の2項目で扱う。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-9.2.2

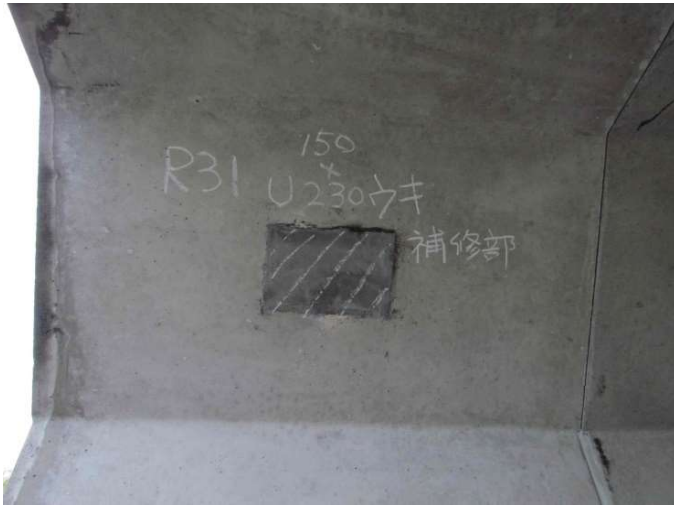
説明

ひびわれを伴ううきが生じている。

この場合，「うき」，「ひびわれ」の2項目で扱う。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 C-9.2.3

説明

補修箇所とうきが生じている。
 この場合、「うき」、「補修・補強材の変状」の2項目で扱う。
 (注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-9.2.4

説明

定着部にひびわれ、漏水・遊離石灰、うきが生じている。
 この場合、「ひびわれ」、「漏水・遊離石灰」、「うき」、「定着部の変状」の4項目で扱う。
 (注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 C-9.2.5

説明

側壁とうきと鉄筋露出が生じている。
 ういた部分のコンクリートが剥離している場合には、「剥離・鉄筋露出」として扱う。
 (注：うきをチョークでマーキングしている)

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「うき」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	—
d	—
e	うきがある。

(2)評価例

区分 (e) の評価は、「(I) 一般的性状・変状の特徴」を参照のこと。